

1. 件名：川内原子力発電所及び玄海原子力発電所の地震等に係る新規制基準
適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年5月8日（水） 13時05分～14時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、谷主任安全審査官、西来主任技術研
究調査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与、
田島主任技術研究調査官※

九州電力株式会社：土木建築本部 副本部長 他6名

（このうち4名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 玄海原子力発電所3号炉及び4号
炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における地下構造モデル
の設定について（令和5年4月28日審査会合における指摘事項及び今後の
審査スケジュール）

時間	自動文字起こし結果
00:00:14	これは4月28日の審査会合のウェルラップアップという形での面談を開始します。
00:00:20	明資料の方ですね本日付で資料九州電力から1点ありますので、これに基づいて、九州電力から説明をしてください。
00:00:31	はい。九州電力の明石でございます。では早速ですけどもお手元の資料、前回4月28日の審査会合での指摘事項、西木飯野をすりあわせ確認をさせていただきますとともに、
00:00:47	今後のスケジュールについてご説明をさせていただきます。
00:00:51	まずページをめくっていただきまして1ページ目には上段、川内についてですけども、いただいたコメントを記載しております。
00:01:01	まず一つ目、地下構造モデルの見直し、この方針の説明では単なる方針、速度構造を見直して観測事実と合わせ込むと。
00:01:12	いうだけじゃなくって、既許可及びそれ以降の観測事実を踏まえた地下構造モデルの構築、に係る論理構成。
00:01:21	観測事実を再現できるという成立性、それらの根拠を具体的に示すことというふうにコメントを大分ちょうだいしたというふうに認識しております。
00:01:33	さらに補正申請については、地下構造モデルと基準地震動の審議が通り取りまとまった段階で部分的に補正するなど限られた時間を、
00:01:44	活用するという工夫を検討することと、以上2点、
00:01:49	このコメントをいただいたと認識しております。
00:01:52	これを踏まえてまず、コメントの一つ目の方、地下構造モデルの見直しの方針についてこれ、まだ前々回のヒアリングでご提示させていただいたところからちょっとまだ、
00:02:04	毛が生えたかどうかという程度もちろん後ラインではありますけども、
00:02:10	これ限界飯野映画概要の構成、をちょっと横目に見ながらアウトラインまとめさせていただいておりますけども、大きな方針といたしましては一つ目の黒丸、
00:02:21	記録記録数震災以降継続的に取得している鉛直アレイの観測記録や、ボーリングEL200メートルまでおりましたボーリング孔内、
00:02:32	での原則的結果等の観測事実に基づき、精度信頼性を向上させた評価を実施し、地下構造モデルを設定するということ。
00:02:42	速度及び密度につきましては、まず、鵜飼基盤表面からEL-200メートルの範囲については、速度構造は

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:52	試掘坑内の弾性試験結果と PS 検層結果をもとに設定し、密度は岩石試験結果をもとに設定するというので、ここで示すべき根拠といたしましてはまず既許可モデルから、
00:03:06	変わって参りますので、そもそも既許可モデルによる応答と、鉛直アレイの地震観測記録との比較、これによって整合性を確認した結果、
00:03:16	ご提示し、既許可モデルと今回の標準音スペクトルモデル、このが何で違うのというところについては、適用対象となる周波数自体の違いにより判断をしてると。
00:03:30	いうことでありましたり、
00:03:32	鉛直アレイの地震観測記録による再同定の計画でサイト書いておりますのは、当初、同定しておりましたのはややより深い層との逆転層、
00:03:45	故障時させないということで地震 T-C の速度層の頭打ちをやってたんですけどもそれを外して、純粹に純粹にという言い方はちょっと私正しくないですけども、
00:03:55	同定した結果がどうなるかと、いうことをお示しさらに既許可以降の観測事実としての、追加ボーリング調査での PS 検層結果、
00:04:06	これを踏まえて設定すると、いうことが根拠として整理戦略、ご提示しなければならぬというふうに考えております。
00:04:14	さらに、
00:04:15	EL-200 メートルから 480 メーターまでの範囲、これは先ほどもちょっと逆転層という話が出てきましたけども、
00:04:24	これ上下層の速度をもとに設定 Ai をしておりますて、
00:04:31	企画モデルから何で変わるのっていうことについて、一つは微動アレイの探査結果からそういう逆転層があるかないかと、というような
00:04:42	傾向を見てとった結果でございましたり、上下層と同値の速度とした場合と、規格モデルと同値とした場合、これで地震動評価が、
00:04:52	どう変わるか、その補正がどうなるかと、いうことについてこれも我々が考え判断した根拠としてお示ししなければならぬというふうに考えております。
00:05:03	N-408 メーター石については微動アレイの速度構造をもとに設定しまして、既許可モデルの設定値と同値というふうに考えております。
00:05:14	次のページ 2 ページに行ってくださいまして地盤減衰につきましては、骨格はこれ玄海と同様でございますて-200 メーターまでの範囲については、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:05:26	鉛直アレイの記録やボーリング孔内での測定結果の観測事実を基に、12.5 と設定いたしましたして、200 メーター以深については慣用値をもとに設定し、設定すると。
00:05:41	いう考え方でございます。
00:05:44	これら設定したモデルについて 2 ページ目の黒丸ですけども、
00:05:51	解放基盤表面から EL-200 メーターの範囲について、鉛直アレイの観測記録、
00:06:00	ボーリング孔内のボーリングで獲られた観測事実を用いて妥当性を確認し、その結果観測事実と同等もしくは上回るということを確認。
00:06:13	するということで全体の構成としてお示ししようというふうに考えて、
00:06:19	おります。
00:06:21	下段には真木許可のときのモデルそれが見直しモデルとしてどうなるかということ左右に並べております。
00:06:29	これ何よりも急ぎ取りまとめてご説明しなければならないところ、スケジュールとしては 3 ページ目、めくっていただきまして、前回会合にてご提示させていただいたところ、
00:06:41	このスケジュールに載せる載せて進めるべく、まとめ、資料の取りまとめを進めておるところでございますけども 1 点だけ。
00:06:51	この 3 ページの右側端 D。
00:06:56	下からちょっと上のところなんですけども、これ今のところ補正日については、11 月頭ぐらいの 1 方しか書いておりませんがこれについては、
00:07:06	会合でいただきましたコメントも踏まえまして、分割補正についても検討しているところでございます。ここは、その検討の結果、
00:07:18	時期を見定め次第改めて提示をさせていただきたいというふうに考えております。
00:07:24	以上が仙台でございます。
00:07:27	それから限界についてでございます。5 ページ目に、まず上段いただきましたコメントを 2 点。
00:07:37	記載しております。まず審査会合において確認した上下動、この一部集計における観測記録との不整合の要因、及び地下構造モデルの反映要否、
00:07:49	の考え方について資料に反映すると、ということと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:07:55	それから EL-90 メーターから 2 百名、マイナス 200 メーターの範囲の一番下、これを $Q=16.7$ に設定した標準オートスペクトル用モデル。
00:08:06	これと、観測事実との比較結果について資料に追加するということ。以上 2 点というふうに認識しております。
00:08:14	これを踏まえまして、地下構造モデルの資料については修正の上仕上げてご提示させていただくところでございますけども、
00:08:24	主な修正箇所といたしましてはまず一つ目の白丸。
00:08:29	PS 検層モデルによる妥当性確認。
00:08:32	につきまして、実地盤の状況、これは EL-200 メートルでコントラストがないということに対し、設定したモデル、これは EL-200 メートルのコントラストによって、
00:08:45	伝達コンス伝達関数の
00:08:48	出っ張りを設けて、補正を持たせておりますので、上下動についても地下構造モデルに問題はないと、いうことを資料に明確に記載いたします。さらに、実地盤の状況については資料に根拠を明示いたします。
00:09:03	それから地下構造モデルの $Q=12.5$ から 16.7 への変更理由につきましては、これも会合の方で確認させていただきました通り、
00:09:15	-90 メーターから 200 メーターまでは地震観測記録がえられておらず、相対的に信頼性が劣るということ。
00:09:23	及び地震動により余裕を持たせて、耐震設計の安全裕度の向上を図るという 2 点を踏まえて地盤減衰を変更すると、いうことを、
00:09:33	資料にこちらでも明確に記載いたします。
00:09:36	で、苗いただきましたコメントの 2 点目についてですけども、標準応答スペクトル用のモデルでの妥当性確認といたしまして、
00:09:46	解放基盤表面から EL-200 メーターの範囲について、
00:09:51	標準とスペクトル用モデルによって、PS 検層モデルによる妥当性確認を実施し資料に反映いたします。
00:09:59	$Q=12.5$ から 16.7 変更した場合、地震観測記録でどの程度増大するかということについて、こちらでも会合でやりとりがございましたので、
00:10:11	全 19 地震を対象に検討を実施しまして、
00:10:15	資料に反映したいというふうに考えております。なお、この 12.5 から 16.7 にした時に地震観測記録でどの程度増大するか。
00:10:26	について、は今、手元にちょっとデータがございませんので今計算を進めようとしてるところでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:10:34	その計算の概要がその次の6ページ。
00:10:37	でございますけども、要は、何をやるかと言いますと、現状の中にて英語の場合は、
00:10:46	最新分のみ-90メートルの地震観測記録を入れてモデルであげて、応答は①と書いてありますけども-
00:10:57	17メートルのE+Fを算出するというをやってますけどもこれが、
00:11:02	12.5から16.7になったらどうなるかということについては、一旦この-90メートル。
00:11:09	の記録を、中にQ=十人、5で、マイナス200メートルまで戻しておいて、それを、
00:11:19	16.7に変えたモデルでEL-47メートルまで上げると、いう計算をやって、その結果、郷大戸は②と書いておりますけどこの①と②がどれぐらい変わるかと。
00:11:32	いうことをご声援。
00:11:34	お示ししなければなりませんので今ちょっとこの計算を進めつつあるところでございます。
00:11:43	これを踏まえてスケジュールがどうなるかというところなんですけども、明8ページ、7ページには前回会合でお示しさせていただいたスケジュール、
00:11:55	を示しておりますも、おりますけれども、続いて8ページには、それから変わったところを赤で示しております。
00:12:05	要は、何が変わったかと言いますと、
00:12:10	まずは地盤減衰書いてますけども地下構造モデルのところは資料修正として、次回会合時にまとめてく
00:12:19	お示しするということなんですけども、ここに先ほどのページでご説明しました計算が挟まりますので、当初の予定よりもちょっと、
00:12:29	1週間ぐらい時間がかかりそうだ、で、一方その下段の方の模擬地震派の方、これはもうトントンと資料を進めていかなきゃいけないんですけどさすがに、
00:12:39	模擬地震は、の方を先に会合にかけて、
00:12:44	地下構造モデルの資料修正はまた後日というわけにはいかないのです、これをまとめて会合までにご提示するとすると、この模擬地震はの方ね、資料は、
00:12:56	迅速にお出しさせていただきますけども会合に諮るのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:13:00	この地下構造モデルの資料修正の分と合わせてということになるので若干遅れて、
00:13:07	6月、6月頭にかかる工程になるかなというふうには考えているところでございます。
00:13:15	ご説明は以上でございますが、1点だけちょっと補足させていただきますと仙台の方については、もう一つ、会合でご指摘があり私の方で答えさせていただいたところとして、
00:13:29	非常にスケジュールがタイトであるということでタイトであるということ踏まえて、我々の方に既許可モデル、
00:13:39	Aを選択するというのも頭はないかというお尋ねをとお尋ねをいただきました。それについてはその場で私の方で、それも選択肢として当然頭にはあると。
00:13:52	いうご回答させていただきました。
00:13:56	それも踏まえて、
00:13:58	正直なところ申し上げますと今社内でそのような選択について議論を重ねているところでございます。
00:14:06	我々技術部畠アートいたしましてはこの地下構造モデル見直しに向けて整理を進めているところではございますが一方、社内上層部経営層も含めて、
00:14:16	そもそもどう要は精鋭スケジュール特に
00:14:21	期限があるということを念頭に、どういう選択をすべきかという議論は重ねているところでございますので、その辺の状況につきましてはまた、議論の状況判断に応じましてまた、
00:14:33	迅速にご報告をさせていただきたいというふうに考えております。
00:14:37	以上でございます。
00:14:49	はい、説明ありがとうございます。そうすると、
00:14:52	資料としては、仙台の方が先にページがあるので先に仙台そのあと玄海ちょっと一旦そこで区切りますね。
00:15:00	仙台の方は、うん。ちょっとこの間のヒアリングから何が、
00:15:07	変わったかというとは何か別に変わってはないんでしょうね。その変更の根拠だとか、
00:15:13	評価モデルからその変更の根拠みたいなのは、速度構造
00:15:18	を何か新しいものを入れようとしてるわけではなくって、この間のヒアリングで言っていたものと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:15:24	変わらないですかね。
00:15:26	ちょっとそこは、
00:15:31	九州電力の明石でございます。基本的に中身な並んでるものとかパーツとしてはこの前ヒアリングで、
00:15:39	お話をさせていただいたものから基本的な新たに配ってるものはございません。
00:15:46	はい。はい。例えばですね、この1ページ目の右側のところでその鉛直アレイの何か再同定をしました逆転層を生じさせないようにとか、
00:15:54	そういう話も一応、7月19日かな、ヒアリングでそういう話をしている、何かその新しい、何か解析なり検討なりを別に進めているわけではなくて、4月19日に説明舌っ足らずだったところを、
00:16:09	今、準備しておりますってそういうことで、
00:16:14	明石でございますそのご理解の通りでございます。
00:16:23	いろいろ健康の根拠としては挙げてるんですけど、結局、今日の時ってその微動アレイを使って、
00:16:32	出た部分があって、それを今回、
00:16:36	-480までは微動アレイからやめましたと。
00:16:41	200メートル浅井とかPS検層に置き換えますと言ってるこのPS検層は、今回追加で掘った3本ではなくて、許可時からずっと掘っている多数あるPS検査の全体のデータをもとに説明するっていう、
00:16:55	そういう意味ですかね。
00:16:58	はい。九州電力の明石でございますその通りでございます。
00:17:03	追加ボーリング調査との整合、
00:17:08	もちろんいたしますけども、
00:17:12	その上の四角のところが鉛直アレイ、
00:17:16	周波数の違い、鉛直アレイの再同定で追加ボーリング調査でのPS検層結果を根拠にしますと言ってるんで、
00:17:25	PS検追加のその3本で説明しようとしてるのではなくて、
00:17:29	評価時代の多数のPS検層の結果を重視する形に変えた上で、
00:17:35	今回、Q値は3本のPS検層を持って取ってるわけですよ。
00:17:39	それ、その速度構造も許可の時に多数ホテルPS検層結果であってありますってそういう説明をしたいんですか。そういうことでございます。
00:17:52	はい。
00:17:53	わかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:17:55	その上でちょっとなぜ許可の時には微動アレイで今回 PS 検層にしたんだっていうところは、ちゃんとその説明をもちろんしてもらいたいですけど、
00:18:04	じゃあ許可のものが間違ってたと言いたいですかっていう話なんで、そうそうではないんだと思うんですけどね。で、その上でですね。
00:18:13	限界は多分既国家も今回も浮かれと見解は素直に PS 検層ですよ。
00:18:19	考え方として多分使うデータ原価になってるのかな、今日限界は多分-200 まで PS 検層で、
00:18:27	ものすごく浅いところも試掘坑ですけど、
00:18:29	男性は炭素ですけど、
00:18:31	で、さらに深いところは地震調査委員会に一気に持ってくってということで、
00:18:35	川内はどうかというと、-200 までは PS 検層、
00:18:41	それより下は、
00:18:44	これは上下層と大瀬の速度を基にとかっていう中 PS 検層ん使って、半分使ってるのは使っていないような形で、
00:18:52	すぐ、深いところを、
00:18:56	地震調査委員会に行くかということそこは千田岩間京消化なんで、
00:19:00	ちょっとその間に微動アレイが何かちょっと残るんですよ。
00:19:04	この辺のところどううまく微動アレイの結果と接続させて、整合していくのかっていう、そこら辺ちょっと説明も聞いてみないとわかんないんですけどね。
00:19:13	はい。町をそういう形で準備はしていると。
00:19:17	ということ。まずは、今考えている 4 月 19 日のヒアリング説明があった速度構造ですよ。
00:19:26	215020502150 だから、
00:19:30	あれ一律でストーンと、マイナ数が結構浅いところから、割と深いところまで、2150 で一気にやってしまうと。
00:19:40	というようなもので説明しようということで、そこは考えていると。
00:19:47	ちょっとそこはなぜ今日から変えるのかとか、なぜこの値でいいのかとか、
00:19:53	結構速度コントラストを取らずに一気にすんと落とすと、コントラストがあるところによる増幅って、逆にないわけですよ。
00:20:02	割ともう 3100、3010-1018 メートルのところ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:20:08	3010 から 2150 で、このコントラストデータフォントは増幅させた後はもう、-28.5 まで、ほとんどコントラスなしなので、あとは減衰値によって減衰させていくだけですから、
00:20:21	ちょっとそれによるて、ちょっと最終的に、
00:20:25	スペクトルの形状とか形状とか多分レベル感ですよ。
00:20:29	半周期がとか下がってないかと、そこら辺は最後地震後の企画とかで見せてもらうんですけど、これ、
00:20:36	-200、地震計の朝より浅いところは、当然そのスペクトルで比較して、
00:20:43	改善されましたというかそういう説明もされるし、間野参考で前回のヒアリング出てたんですけど、
00:20:49	これ-200 までのところってこれはね PS 検層モデルとの比較をこれやるってということなんですか。
00:20:56	玄海と同じようにというか、仙台も 12 月に提示されて、
00:21:01	一応問題というか、課題として挙がってたの PS 検層モデルの比較ですよ。
00:21:07	あれは、今回新たに見直した速度構造で、この PS 検層モデルと比較をして、
00:21:14	同等もしくは上回るってそういう説明をされるってということなんですかね。
00:21:19	今のご質問要は最新分の地震計から 200 メーターまでということだと思うんですけどそこ、国家骨格というやり方も玄海と同様、
00:21:30	考えております。
00:21:34	はい。玄海の場合は、多分 EL-200 から解放基盤の妥当性の説明。
00:21:41	そして一応 PS 検層モデルとの比較で、同等もしくはそれ以上、計算上のコントラストをとばらったものでフェアに比較して、
00:21:49	同等もしくは上回るので、そこは Q 値としても、地下構造としても良いでしょうとなったんですけど、一応それと同じことを川内でもこれやるっちゃう、この見直した後の、
00:22:01	速度構造見直し後のものですけどもやると。
00:22:05	そういうことですよ。はい。
00:22:09	それは多分前回のヒアリングの時にはなかったはずなので、確か。
00:22:13	ヒアリング資料ではなかったはずなんで、
00:22:16	それだから今準備してるってことですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:22:18	比較については前回のヒアリングの時には閉じるわけではなかったんで、ここを宙ぶらりんだなと思って、聞いてはいたんですけど、それはやると。
00:22:30	その上で、あとは、ここにはないんですけど、
00:22:35	車の
00:22:36	全体の流れがですね、まずは共管モデルに戻したらどうか。それでは、観測記録との整合性を確保できない。
00:22:46	ピークをずらすように速度構造をいじりました。
00:22:50	そうすると観測記録との整合性を確保できるという、論理なわけですよ。
00:22:56	そうすると、少なくとも評価モデルよりも、
00:23:00	速度構造をいじった方がですよ。
00:23:03	良くなってますっていう説明は、
00:23:06	金リーダと、
00:23:08	説明しなきゃいけないわけで、
00:23:10	そういうものがちょっと比較できるような形っていうのは今、多分、資料上前回のヒアリングではなかった。
00:23:17	もともとの新申請時のモデルってのも変な言い方ですけど、去年の秋ぐらいにこのモデルでいきますといったモデルがあるんで、もともとの
00:23:27	これまでに3月2月で説明したモデルがありますよね。
00:23:31	それに対して観測記録があって、さらに、
00:23:35	今回見直した速度構造を見直したものっていう多分三つがあって、
00:23:41	磯三社で比較して、観測記録よりも、同等以上上回るように改善されましたって多分1個の図で見えるわけですよ。
00:23:50	もう一つが局からモデルに戻しても駄目ですっていうだとすると、評価モデルも良くなりましたって、何かの形でも同じように三社比較で見られるかもしれないですけど観測記録。
00:24:00	許可のものを、今回速度構造を見直し、それでちゃんときちんと許可に戻しても駄目なんだけど、こちらでやるといいんですけどっていう。
00:24:10	過小評価にならないですっていう説明ができるなら、
00:24:14	それはちゃんとすぐ見える形で示してもらいたいですよね。ヒアリング資料だと、何かこういうんなページを
00:24:21	こう眺めながらこうパタパタ答えながら見ないといけなくて、ちょっとそこ見づらかったんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:24:28	もちろん気評価モデルに戻せば短周期側がさっと当然上がるんで、
00:24:33	そこら辺は当然評価モデルの方が上回るはずなんですけど、
00:24:37	あそこ分は差っ引いたとしてですね差っ引いたというか別に、そこは当然、今日モデルの方に勝てるわけないので、
00:24:44	今回の問題になってた速度構造、速度層でそこじゃ大変、
00:24:51	Vs、
00:24:52	0って周期 0.10, 20 ですよ。そこは解消されるんだけど、他のところで問題が生じたとか、そういうところで、何か短周期が逆に下がってしまって、
00:25:04	かなり保守性がなくぎりぎりですとかってなると、
00:25:07	いやそれは Q 値との関係を全体で見ていいのか、そこが議論になるので、
00:25:12	ちょっと今の方針だと。
00:25:15	速度構造を変えるか、
00:25:18	使えるか、そのどちらかには手を出しますけど、両方いじくることはしませんっていうやり方なので、
00:25:24	ちょっとその二者択一極端なやり方で、1回その議論を収束するようなモデルなのかっていうところは、ちょっとそこを見せてもらわないとわからんかなと。
00:25:34	いうところで、そこは
00:25:36	会合では細かいところ言いませんでしたけど注文つけております。
00:25:42	明石でございます今のご指摘のところ、前回の飛躍の時は既許可モデルのページ等見直したモデルのページそれぞれ別々でやっぱりぱらぱらめくらないとどうなのかと。
00:25:54	いうところが、結局とどこがどう改善されて、なので我々九州電力としてどう判断したのかというのがちょっと見えにくい、見にくいとか見えないうちになっておりましたので、
00:26:06	そこは見直しをご説明するにあたってそこはきちりご説明しなきゃいけないというふうに認識しております。
00:26:16	はい。改善もそうなんですけど、改善されたら別の周期体で解約されていないかっていう所も当然、ちゃんと見ていただかないといけないので。はい。
00:26:27	いたします。
00:26:31	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:26:32	そうすると、ちょっとこれを、
00:26:36	今ですね、ちょっと速度層の見直しのところについてなぜこの見直し方針で良いのかなこの見直した結果でいいのかというところは、
00:26:46	今田から資料を準備しているために、
00:26:51	少し時間がかかりますと言ってたのが、4月28日の会合であって、
00:26:57	そこからはスケジュール的には動かしていなくてその時点でもうすでに検討+1ヶ月になってるので、
00:27:06	これを間もなくしよう。
00:27:10	出てきて、
00:27:11	方針、方針と言いつつその見通しなり、成立性なり妥当性なりを、ある程度その方向性が固まるような、
00:27:20	会合を5月の末か6月の頭ぐらいか
00:27:24	やり、
00:27:25	次地下構造全体の話は次の回を
00:27:28	理事会。
00:27:30	そういうす。そこは書いてないわけですね。
00:27:33	はい。
00:27:34	ちょっとともかく、次のヒアリング資料でしっかりしたものが出てこないと何とも言いがたいところありますけど、
00:27:46	はい。
00:27:49	ちょっと議員会の中身の方もあるんですけどスケジュール感でいうと、
00:27:55	この仙台の地下構造の方針は、
00:28:00	見解が若干、
00:28:03	スケジュールを、地震動とはどっちか構造、もう1回、再度資料構成見直して、加納加筆して、
00:28:11	出すということで、
00:28:13	若干、
00:28:15	介護の時期が、
00:28:17	5月の末地震動だったものを6月の頭に、
00:28:22	していて、地盤斜面との関係でいうと多分そこはずらしてないということなんですけど、
00:28:28	解析をある程度早めに回すっちゃうことかもしれないんですが、
00:28:32	そうすると、次は、仙台の地下構造の方針を先にかけて、見解の地震動は、しばらく、その次にということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:28:43	そこはずらすのかな。
00:28:49	ちょっとずらしてますね。多分同じぐらいの5月末がちょっと微妙なずれでございますけども、全く同時ではなくて、
00:28:57	玄海の方がちょっと、あと、
00:29:00	になるから、玄海の方地震動の評価方針はもう1回やってるので、はい。
00:29:06	はい。
00:29:08	評価結果を出して議論するっていう形なんでちょっとそのネックになってる1000台を先に、ほぼ使用何とか方針と見通しを固めたいと。
00:29:17	そっちを先にやるっっちゃう感じですかね。はい、わかりました。
00:29:21	カーすみません。川内の関係で何か、
00:29:29	あるか。
00:29:49	うん。ちょっと今のここの今日の面談資料と、この間の19日のヒアリング資料だと、
00:29:57	結局次出てから白浜。
00:29:59	ちょっとどのぐらいに投資になるものかなって、
00:30:02	これー今この時点で5月の
00:30:05	今日8日ですよ。
00:30:07	ここの川内の今資料提出でってなってるのは、これは何か今週中ぐらいの、
00:30:14	意味合いですかねこれ。
00:30:16	志田さん。
00:30:20	いや、イメージとしては、今週中最悪でも来週月曜日のイメージではあります。何か、少なくとも月の半分よりは前があるので、
00:30:30	今週中ぐらいの、何か大あの車三角かなと思うんですけども、
00:30:35	来週月曜とかだと、
00:30:37	うん。
00:30:38	5月って最終金曜日26日なんで、
00:30:41	ちょっと
00:30:43	5月の12なのかどうかっていうのは、
00:30:47	1回のヒアリングですぐ、
00:30:49	議論できるレベル、或いは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:30:53	もうこれはどうしても、いわゆる去年の12月にですね早急に何か会合で議論しないというふうな感じよう極端なものでない限り、なかなか難しいかもしれないですけどまだ資料出てきてないんで、
00:31:03	はい。
00:31:04	わかりました。じゃあ、いずれにしてもこの資料の提出時期の見通しとしては一応今週終わりぐらいか。
00:31:11	来週の頭ぐらいということですね。はい。
00:31:16	はい。
00:31:18	一応スケジュール表上のつ頃っていう、
00:31:22	いつごろ資料が出てくるかのスケジュール感はわかりました。はい。
00:31:34	後でまた何か。
00:31:37	はい、では、Dとまだちょっともし何かあれば、後で仙台戻りますけど限界が5ページからですね。
00:31:48	この一つ目主な修正箇所の一つ目の、
00:31:53	丸は、
00:31:55	これは一応コントラストを設けているので実際はそういうところが増幅するような増幅とかそこに強い。
00:32:05	PEEKある程度ピークがあるような波が入力してきても、そこはこの速度コントラストで、
00:32:09	マイナス200メートルのところで、そこはれるようになるんで、カバーす、伝達関数としては、
00:32:14	カバーしてますと、いう話なんですけど、一応会合の説明だと、そもそもスペクトルの形状なりはそこに強い、ある程度ピークが出てくるのはあれは震源特性だというような説明だった。
00:32:29	ように、
00:32:31	もともとですよ。
00:32:34	何か解放基盤や一各部の地震計よりも深いところに行っていっているのが、地震計より深いところの地下構造によるものというよりは、
00:32:43	震源側の分なり或いは途中の伝播経路なり、
00:32:48	特性で地下構造のよる特性ではないです。ただそういう波が入ってきたとしてもこういう速度構造で、
00:32:56	伝達関数側でカバーしてるんでっていうそういう話だったと最後、
00:33:01	見てるんでそこも含めて書くっちゃうことですかね。
00:33:05	原因は多分面厳密には特定できないんでしょうけど。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:33:10	でございます原因についてはすいません私会合当日震源特性みたいな話もしましたけど、結局今鈴木さん、ご理解いただいてる通り、特定はなかなか難しい。
00:33:21	と思いますけども、要はそういうことがあったとしても、このここで書いてありますような考え方でそれがやってきても大丈夫なんだよと、いうことを、
00:33:31	ちゃんと
00:33:33	資料に示すということだと考えております。
00:33:38	はい。ここ分瘤として、多分観測記録の-90に入れてるものを同じものなので、地震観測記録とそれを地下-90 浅いところの地下構造モデルに入れて、
00:33:50	上まで上げたら、なぜか観測記録の方が、
00:33:54	ちょっとだけ出たり、
00:33:55	していますという話なんで、
00:33:57	あそこは90メートルの範囲内でだけで、
00:34:00	伝達関数とか
00:34:03	ベクトル形状とか見ると、
00:34:04	やっぱりちょっと負けてる部分は、わずかですけどね。
00:34:08	あるんですけどそこは200メートルの範囲内で広く見てあげれば、
00:34:12	それはちゃんと伝達関数としてカバーしてますってそういうことだと思うんですけどね。
00:34:17	はい。
00:34:18	地下構造モデルの9以降、12.516.7。はい。
00:34:25	で後は、標準応答スペクトル表これはあれですね16.7にした場合の結果で、今の段階で示せるもの、当然地震動評価結果として、最後自由があるんです。
00:34:39	20gal ぐらい上がりますというのはそれは地震動評価した結果で、また見せてもらうとして、この段階でできるものは出しますということで、
00:34:48	PS 検層モデルもそうですしあと参考でいっばいつけてた友沢のブロックインバージョンのあの辺のところマップ、それも両方出るんですか。
00:35:00	あっちもうなんか使ってますよね。いわゆる90メートル浅いところだったら、当然、そのQ値変えないんだから、結果も何もないんで、アップデートされ、アップデートというか、
00:35:12	標準応答スペクトルをモデルとしての結果ってないんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:35:18	なんか見るとぴあの例示としては PS 検層モデルの話あげたんですけど、
00:35:22	ほかにもあれですかね。
00:35:24	ロックインバージョンの方とか、後にも何か、
00:35:27	出てそれでも $Q=12.5$ でやっていいんじゃないかと思うんですけど。
00:35:32	九州電力の本村です。おっしゃる通りですね、参考資料のところ、土佐他のブロックインバージョンでも、12.5 の妥当性確認をちょっとしてたんですけども、
00:35:42	ちょっと今考えてるところでは P 観測記録、高いところのところ、
00:35:49	ぐらいかなとちょっと思ってたんですけどちょっと
00:35:52	やっぱりやった方がいいというようなところですかねちょっと塘さん他のブロックインバージョンところは、
00:35:59	ちょっと今、考えてなかった
00:36:02	かっていうのがちょっと正直なところではあるんですけども。
00:36:06	とりあえず時間かかる
00:36:09	というよりもそもそも要らないと思う。
00:36:12	一応参考とはいえ、説明がついているので、
00:36:15	いや、結局、地下構造モデル全体、
00:36:20	これも説明の仕方だって説明というか構成次第なんですけど、まずそもそもですね速度構造とかの Q 値とかも含めて、前回の会合のときの資料ってやっぱり、
00:36:32	許可と同じ値使ってますだから基準適合上妥当ですみたいな、そういう説明が多くて、いやそうじゃなくてこれ、全く新しくはないんですけど、
00:36:42	これ今回地下構造モデル標準落とす時に作りましたと言って、ただやり方としては的野さん他のブロックインバージョンを使って全体を説明することはできないから、
00:36:54	地震観測記録に合ってます PS 検層とかの結果合ってます。
00:36:58	それより深いところとか、
00:37:00	多分、何らかの理由であったいわゆるこの、
00:37:04	慣用値を使ったり地震調査委員会をもとにして速度構造を見たりする、これでいわゆる地震基盤から、
00:37:12	解放基盤までのうち、マイナス 200 メートルまでの地下構造としては妥当なんですって、多分何か説明があるはずなんですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:37:20	友野さんほかは直接ダイレクトには全体使えないんですけど、
00:37:24	そこがないわけなんですけど、そこは今参考になってしまってるんで、そこも注文後でつけようと思ってたんですけど、
00:37:32	いえ、
00:37:33	もさ他はあくまで補足説明上使ってるとはいえ、12.5にした場合の地下構造の妥当性、それが最終的に何か 16.7 して、定性的に考えれば、普通にですよ。
00:37:47	考えれば、それから過小評価になるように変わるとは到底思えないんですけど、
00:37:52	ただそうは言いながら 16.7 にした結果も、ほとんど変わりません。
00:37:57	引き続き、特に変なものはありませんなのかという最後の答えのところで説明は、それはあってしかるべきだと思いますので、
00:38:05	ただちょっと時間がかかると、解析に。
00:38:08	と言うんだとすると、ちょっと、
00:38:12	考えますけどね。
00:38:15	10 種類の赤瀬でございますまず、今友田友田他のところ参考ではありますけどもそれをやりたくないとかやる必要ないという申し上げているように聞こえてたんだったらそれちょっとお詫び申し上げますけども、
00:38:28	ちょっとこの資料上、6 ページに書いてる方の計算についてこれをちょっと優先的にやっててあと、実態として申し上げると、連休中はゼネコンさん解析やっていただくところがもうお休みに入ってしまったので、
00:38:43	今日から動き出すというところもありまして、ちょっと優先的にそっちをやって、友田ほかやり直すとして計算を加えるとしてちょっと 2 番手になってるとというのが実態でございますただ、
00:38:55	参加の方は計算はそんなに時間がかかるものではないと思いますので並行してちょっとここは進めたいというふうに考えております。
00:39:05	はい。はい。なので最終的には、いわゆる参考になっているブロックインバージョンのほうも 12.5 の現行のものと、16.7 にした最終的な標準を通す時の地下構造モデルとしての、
00:39:18	計算結果なりも、
00:39:21	そこはつけ加わると、ただ優先順位は当然ながら、この 200 メートル浅いところ、
00:39:27	の部分をやっていく。
00:39:29	で、それが 6 ページなわけです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:39:34	やり方としては、-90の地震観測記録を、
00:39:40	これは
00:39:44	千田。
00:39:45	これ設定した。
00:39:48	設定した地下構造区=12.5の地下構造モデルで、
00:39:54	引き戻すですか、どうすんだ。
00:39:57	引き戻して、
00:39:59	-200まで。
00:40:01	それを今度16.7に、
00:40:03	他地下構造モデルでもって、
00:40:07	EL前野藤江という名前で引き上げる。
00:40:14	これ、何で引き戻す獅子浜の時って、これ使うのは12、
00:40:19	方ですかね。主幹。
00:40:32	EL-90メートルの地震観測記録。
00:40:39	魚を前に多分1回転が入るんですか。
00:40:42	L-90メートルの観測記録に地震観測がありますと、それを、
00:40:48	切りつける多分、
00:40:50	で設定した地下構造モデル引き戻しますとか12.5まで一旦引き戻しま す。
00:40:56	それを入力はとして、今度は16.7に直した標準応答スペクトルの地下構 造モデルで、
00:41:04	当然マイナス90まで。
00:41:06	上げる、そこで比、
00:41:08	中間的に比較してもいいんですけど、当然これ最後の解放基盤のところ で比較をして、
00:41:15	見てあげるの、解放基盤を投げますと、
00:41:19	それを応答は①と言ってるけど、
00:41:22	これまで提示してる人、
00:41:24	うん。
00:41:26	松尾名倉です。
00:41:27	1回、
00:41:29	見せてもらったような局あるんだけど、ヒアリングか何かで、
00:41:33	そのときは何を見せてくれたんでしたっけ、12.5と16.7の差を見せて くれたんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:41:41	これはあくまでも、左側のモデルと右側のモデル。
00:41:48	油井様は
00:41:51	前見せてもらったなら何かそれと何が違うのって言うのかわかりません。
00:41:55	はい。
00:41:57	九州電力の本村です。以前お見せしたのはですねブロックインバージョン土佐他のブロックインバージョンなので、震源からこうたどっていく。
00:42:06	ものですので、要は
00:42:08	震源から伝播で、サイト特性として地震基盤相当面から上にこう、
00:42:14	上昇させていただいていたので、左側のこの 12.5 の、
00:42:19	モデルと、この右側の標準応答スペクトル用モデルで、
00:42:23	上げる過程で、12.5 と 16.7 を下がってると。
00:42:28	いうところだったんですけども、
00:42:31	名倉です。以前はだから元がブロックインバージョンで、
00:42:35	震源特性と伝播特性、もう考慮した地震基盤相当の E+F を出して、
00:42:47	算出してそれを今回の地震基盤相当の地下構造モデルを反映してその時に、12.5 から 16.7 の違いがあるんだけどその差を以前お示しました。
00:43:01	今回は、
00:43:04	地震観測記録をもって、
00:43:06	友田岡井のブロックインバージョンではなくて地震観測記録で示したいので 1 回下に引き戻すという、
00:43:14	ことをするという事なんですけど 12.5 で引間が、
00:43:30	うん。
00:43:30	そうかこれ応答は 1 と 2 での比較っていう定例会てるからそうなのか。
00:43:39	はあ。
00:43:47	これ、谷ですけど私も気になったんですけどこれ 19 地震をやんなきゃいけないのかなって考えたんですけど 19 やることの意味って何なのかっていうのと、
00:43:57	もうこのために来てるんだったら、
00:43:59	普通に標準応答スペクトルをね、比べるとかいう段階にはないんですか。
00:44:05	結局この、
00:44:08	この Q 値の保守性を持たせるのが、評定とスペクトルに対してどう、どう関係するのかっていうのが最終的には見たい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:44:17	で、
00:44:18	間感じるんですけど、
00:44:20	やっぱり 19 地震をみせると。
00:44:24	どういう、ねらいで 19 地震。
00:44:28	やる必要があるって思ってるのかっていうのが、
00:44:31	あんまりぴんとこなかったんですけど、何かその辺の、
00:44:42	こっちの全部全部の観測記録をとまで言ってるんですか。
00:44:51	九州電力の明石でございますもちろん全部の観測記録というご指摘をいただいたわけではございませんけども結局これ、12.5 のところと 16.7 のところ通す要はその伝達、
00:45:04	Q 値が違うところについての要は伝達関数の違いが出てくるということになると思うんですけども、観測記録ごとに当然その位相との兼ね合いで、出込み引っ込みというか、地震観測、観測記録ごとに違いは、
00:45:19	出るだろうと、そんな目くじら立てるような値が出ないと思いますけども、それを、何がしか、こうこうこういう理由でこの地震管制局代表選手でいいんですっていう説明もなかなか難しいかなと。
00:45:30	それよりはもう全部やってみて、根井やってみた結果こんな感じですよ、お示しした方が、全体を見ながら話是可以だろうと。
00:45:39	思って地域地震をやろうというふうに考えているものです。
00:45:48	なかった。
00:45:49	おそらく、智郎さんは他のブロックバージョン使って、いわゆる震源側からたどって入れてた時も多分スペクトルレベルだと。
00:45:58	あんまりデジタル値で多分見ないと違いがわからないぐらいで、だから伝達関数で見ると初めて違いがわかりましたそのぐらいだった気がするんですよ。
00:46:07	今回その PS 検層モデルの比較の方は 5 ページ目の、三つ目の白丸の一つ目のポツで、これやりますと、
00:46:16	PS 検層モデルとの比較は、
00:46:18	その下は、
00:46:21	これはじゃあどれを置き換えるのかというと、
00:46:25	でも地震観測記録でっていうと、
00:46:28	でももともと地震観測記録との比較はしてたので、90 メートルから浅いところで、
00:46:34	の地下構造モデルの妥当性という説明をしていたので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:46:39	何かそこに何か、マイナス 200 メートルまでひっくるめて、
00:46:45	ですよ、地下構造モデルの妥当性を何かまた論じたいのか。
00:46:49	何なのか、ちょっとそこをこのやる意味合いというか、その使い方というか、そこら辺がよくわからない。
00:46:59	九州電力の明石でございます。ここをやることとして我々の会合でご説明したのは、この 12.5 から 16.7 にすることによって、
00:47:11	Ss 基準地震動レベルとして 10 ガルから 2 ガル程度の違いが出る部分じゃないかと考えておりますお話をしましたが、それが観測記録に対して照らしてみると、
00:47:23	それぐらいの地震のレベルだと、どれぐらいの違いになるのかと。
00:47:28	いうふうご質問がございましたので、
00:47:33	そこもやっぱり会合でのご指摘については、検討の上返さなきゃいけないと、いうこと、計算をしようとしてるところなんですけど。
00:47:44	規制庁の名倉です。12.5 で引き下げるっていうことに対しては、減衰を大きめに評価することになるから、引き下げると地震動はより大きくなる。
00:47:57	それを 16.7 で引き上げるということは一応、比較としては安全側になるっていう一応理解をしてるんですけどそういう医長井戸があった。
00:48:07	ちょっと意図ってというか、そういう形で比較はしするっていうことで理解をしたんですけどそういう理解でよろしいですか。
00:48:15	明石君もその通りでございます。
00:48:17	傾向として間違いなくそうなると思いますのでそれをどれぐらいの違いなのかっていうそのお示しの仕方図の書き方はちょっと工夫が要るかと思っておりますけどもそこを、
00:48:28	具体的に地震観測記録として地震観測記録のレベルでお示しできればというふうに考えております。
00:48:38	はい。
00:48:39	あとここでやっぱり比較したいのは、設定した地下構造モデルの応答はの方であって改めて
00:48:47	EL-19 の地震観測記録そのもの、
00:48:51	と、この何か応答は②を何か比較したい、すると、そういうことではないわけですか、これ。
00:48:59	今この資料見る限り、土肥 L-10K の観測記録は出てきていないわけなんで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:49:06	あくまで応答は、①設定した地下構造モデルの方の党派である①と、
00:49:12	一旦引き戻して引き上げてきた、標準応答スペクトルモデルを使った応答は0に、
00:49:17	この両者を比較しててどうだという話。
00:49:21	であって、もともとのEL-17の観測記録と再度何か比較をして云々と。
00:49:28	観測記録との何か整合性が云々とそういう比較の仕方をしたわけではないわけですねこれ。
00:49:34	見る限り、
00:49:37	というということですね。
00:49:40	アーカンソー記録ともう1回なんか1から比較するんだとすると、その置き場所って、
00:49:45	やっぱりどこになるんだろうなっていう話であったんですけど、
00:49:48	今回党派同士に比較して、
00:49:51	いわゆる設定した地下構造モデルの方の解放基盤の方と、あと、
00:49:56	今回、引き戻して引き上げた標準をスペクトルモデルの方で、解放現場の大戸は、
00:50:01	この二つを比較して、
00:50:03	党派で比較すると、
00:50:06	この両者の
00:50:07	関係がどうなのかを、そこを比較して説明したいと。
00:50:14	ちょうどですよ、可搬即記録にさかのぼって、もう一度何か比較したいわけではないわけですね。
00:50:23	厳しい電力の本村です。今回この計算の趣旨として、目的としては12.5と16.7の、
00:50:33	違いだと思うので、大口は①が12.5のモデル、それとあと②が12、26.7ですかね、そのモデルになるのでそれで比較して何galぐらい上がるかっていうことを承認していこうと思います。
00:50:47	はい。わかりました。なんで、もう一度再度何か観測記録との間、ダイレクト関係を、何かしっかりして説明したいわけではなくて、
00:50:56	設定した資格のモデルから標準応答スペクトルモデルで、どれだけ違いがあるのか。
00:51:04	応答はどうして、両者の音はどうして比較なので、解放基盤の地震観測はここではもう議論になりませんと。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:51:12	わかりました。
00:51:17	その上ですね、あと、これは 00 の上下動の正しいのところには当然使わないですよ。
00:51:26	多分使えないですよ。
00:51:29	いわゆる、-2100 のコントラスト両方。
00:51:32	つくので、
00:51:34	マイナス 200 メートルのところの速度コントラストで両方つくので、
00:51:38	多分この検討結果からは、
00:51:40	さっき、上下部のところ
00:51:43	係にそういうピークのもが入ってきても、そこで何点かのカバーしますっていう説明は当然使えないですよ。
00:51:51	し使うつもりも多分ないんだと思いますし、こっちも作ってもらえないとちょっと違うんですよ。はい。ではないですよ。はい。そこは。
00:52:00	それ多分使えるものではないはずなんではい。
00:52:06	仲村です。
00:52:08	1 点確認したいんですけど、
00:52:11	前回会合のときの 4 月 28 日の、
00:52:15	質疑の中で、内野内藤の方から、
00:52:18	彼は会合で初めて
00:52:21	今回の伝達関数、
00:52:23	これに関してはマイナス 200 メーターのところは、コントラストが基本的にはないのが実情なんだけれども、
00:52:31	コントラストとかあるものとしたもの。
00:52:33	そして伝達関数を出したものがやっぱりピークとしては盛り上がっていて、事実に地盤相当に関してに対して次すいません実地盤外に対して保守的なコントラストを設けることによって伝達関数を保守的に設定していると。
00:52:49	ということは口頭で多分内藤の方から話があったんですがその時に、彼は、
00:52:54	実地盤の状況として地質構造と関連付けた説明。
00:52:59	ある程度地震基盤ソフトまで、ある一定の構造、
00:53:04	要は出っこみ引っ込みがないような、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:53:07	ER あるてる均質な構造として、地震基盤まで連続して、深度に応じた上昇具合というか、
00:53:18	そういうふうな何て言うのかな、地質構造的な説明とあわせて、
00:53:24	説明をしてくれって話をしたんですけどそれは、この資料の中では、主な修正箇所として自治実地盤の状況について資料 2 個資料に根拠を説明っていうところに、
00:53:35	ちゃんところら辺は説明を入れるっていう理解でよろしいですか。
00:53:39	要求知念明石でございます今ご理解いただいている通りです。今日の資料上はその資料に根拠道とさらっとしか書いておりませんが、その値数、的なの話も含めて、
00:53:53	大きなところから、ちゃんと整理立てて資料を整えて明示いたします。
00:54:17	私もちょっとこれ聞きたかったのが、5 ページのその 200 メーターのコントラストによって伝達関数のと、一つ作ってるのが保守性なんだってという話なんですけど。
00:54:28	これっても、
00:54:31	もっと浅いところの話とか、これこれはないんですか例えば 150 メーター - 150 メーターだとかマイナス 100 メーターのところ、
00:54:40	ここコントラストを、地下構造モデルでは、
00:54:43	つけてるんですよ。
00:54:44	そ、そこはここの保守性と、200 メートルのところだけなんです私、これ何と比べたらいいのかなってというのがあって、確か余語りをした分が、
00:54:54	何ですかね、速度境界なかったですって言うんですけど。
00:54:58	それ言ったらもっと、もっと深いところにもあるかもしれないじゃないかとか何と比べて保守的なのかなというのがちょっと、
00:55:05	わかりにくくてですね、それを聞きたかったところなんですけど。
00:55:12	ここにコントラストがね、ある。
00:55:15	作ってるから保守的なんだって言うけれども、ひょっとしたら、
00:55:20	このボーリングで、
00:55:21	見るよりももっと深いところでは
00:55:24	この 4000 ぐらいのコントラストがあるかもしれないですよ実際に、
00:55:33	それでも、
00:55:34	ここにあるということでもいいんだってという話なんです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:55:40	九州電力明石でございますすいません。ご質問の趣旨が正しく理解できているかどうかはありますけども、もちろん、200メートルでも深いところ2何がしかあるかどうかと。
00:55:53	いうご議論はあるかもしれませんが、ここ会合の中でお示したのは、200メートルまでについて、観測キロプラス追加で掘ったボーリング、これに対して、
00:56:08	これを踏まえてモデルが妥当なるかどうかと、いうことをお示しするときに、実際これ当初、
00:56:18	PS 検層モデルですってやった時には200メートルにコントラストを作ってしまったてそれがためにぼっとピークが出てたと。ただ実際にそこ、地質状況等見てるとそこにコントラストがない。
00:56:32	コントラストをなくすとそのポコッと出るピークがなくなると。
00:56:35	で、
00:56:36	実際問題としてそこにピーク、速度コントラストはあるののって言ったらその先ほどもありました置数なんかを踏まえて見てるとその200メートルのところにそんな明瞭なコントラストはないと。
00:56:47	それに対して、標準音スペクトルモデルについてはそこにコントラストを設けてポコッと山ができるようにしているので、
00:56:56	ちゃんとカバーできるようになってますと。
00:57:00	いうご説明なんですけどもはい
00:57:12	明石久世この150メートルのところのコンター図、ここも当然伝達関数としてはでこぼこ出てきますけども、例えばVSの差分を見ていただくと、そんな大きな速度差は出ておりませんので、
00:57:26	若干の踏み込みありますけども、
00:57:29	すいません変な言い方ですけど、ここで保守性を持ってますカバーできますというほどのことがつくれるかというのと、
00:57:36	はい。
00:57:40	-200のコントラストをなくしたやつ。
00:57:43	てみると、フラットになってしまってるので、
00:57:46	さすがにこの
00:57:48	もうちょっと浅いマイナス100メートルぐらいの、
00:57:51	Vs100、1570から1730で、
00:57:55	もう何か不正がありますと、その周期体が上がりますと、多分言えないんでしょうね。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:58:02	ちょっと限界の方はそういう方ちょっと 19 地震なのか別最後、そのスペクトル標準応答スペクトルとして、
00:58:12	どう、
00:58:13	効果があるのかという説明をしたいので、ただ改めてじゃ 19 全部やるのかと言いつつ、ただ、他のやり方、
00:58:20	なかなか見つからないんであれば、191 個 1 個でやってくしかない、そういうことだとは思いますが。
00:58:27	はい。
00:58:28	なのでちょっと途中でも言いましたけど、
00:58:31	ちょっと割と、4 月 28 回後の時全体概要と
00:58:37	部分だって、後ろの方もちょっと特管の部分があって、概要にだけ書いてあって非常に書いてなかった後にだけ書いてあって外部に書いてないものもあるのでそこは改めて全体を見直してもらうとして、
00:58:48	やっぱりその、
00:58:49	今のモデルで基準適合性を説明してもらいたいのが当然
00:58:55	中地震調査委員会 2007 使ってるから、
00:58:58	許可と同じ値を入れてるから基準適合っていうちょっとそういう説明になってしまって、これ概要部分なんですけどね。中身はっていうと全部参考に飛んでしまってるので、
00:59:08	ちょっとその部分もおらずにですね、ハイキング、
00:59:11	他の会合でももちろんそうなんですけど、当然地盤斜面時も、水撃そうなるんですけど、焼きヨーカドーなんか同じ値が出たから、だから機器ですとかって言われても困る。
00:59:23	今回の地下構造モデルはこういう設定。
00:59:26	こういうところから数値を持ってきました。その数値はこういう根拠で、地下構造と正田等ですと、
00:59:32	いうのは説明は、一言付け加えてもらいたいんですよね。
00:59:37	地下構造モデル全体として何か解析結果でどうみたいな言い方はできないっちゃうのは、わかっているので、パツパツになって、-90 万円-200 まで。
00:59:49	それより深いところ、
00:59:51	設定の仕方自体が限界全然違いますからね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:59:54	それより深いところちゅうのはなぜなぜ良いと言ってるのかっていうのはそれちゃんと一言書いてもらわないと。だから許可と同じ値を使ってるから、
01:00:02	基準適合です。でももともと許可は、長周期用に作ってましたと言ってた手前、
01:00:09	これを今回だっかって作る考え方変えたんですね。何でいいんですかっていうのは、ちょっとそれはちゃんと一言書いてもらわないと、話として成立しないので、
01:00:18	ちょっとそういうところもですね。
01:00:19	本当は2ヶ月だったんでその期間中にやってもらいたかったんですけど、そこは間に合ってなかったんで、その辺もちゃんと
01:00:27	今から何か新しい検討するわけではなくて、
01:00:30	ちゃんとなぜいい、いいというのかを書いてもらうだけなんで、
01:00:33	それもちゃんと加筆してくださいねというのを付け加えておきます。
01:00:38	改めて、川内玄海通じて何か、
01:00:42	ございますでしょうか。
01:00:51	規制庁の名倉です。
01:00:55	まず所感なんですけど川内に関しては、
01:01:00	既許可をどうしていたのか。
01:01:03	それに対して、今回新たなデータというものを追加して、もしくはどういうきっかけで、今回、仙台のモデルを
01:01:13	変更したのかってその時に、
01:01:16	玄海の既許可もしくは限界は測量コードと一緒にですけど限界と、どういうふうに考え方の関係になっているのか、これで今回は限界にある程度整合的になってきて、
01:01:28	そうですね。
01:01:29	そこら辺をちょっとなんか、ちゃんと
01:01:33	説明上明らかにして欲しい。で、今回のところで非常に悩ましかったのは追加ボーリング調査でのPS検層結果って仕掛けなんか書いてあるんだけど、
01:01:43	これはだからある意味、これまでのPS検層結果も、の整合性も踏まえて説明をするってということなのでこの辺がちょっとにじみ出ていなかったんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:01:54	ちょっと前回ヒアリングでお話したことが本当に伝わっていたんだろうか。
01:01:58	というふうにちょっと疑問に思ったので、ここら辺をちょっと明確にさせていただきたい。
01:02:02	それから限界に関しては、前回議論になったものの内容について、本当に網羅的に説明をちゃんとして、あと1回で本当にある程度説明をしていただけるものかどうか。
01:02:15	というところをちょっと知りたかったんですけど、この辺は少し、今日お話した通り、こちらでもいろいろ指摘をしましたがけど、ちゃんと説明できるように、地質構造な地質構造とかそれからあと、
01:02:27	今回のその12.516.7の差分を示さ器の条件の妥当性とか、そういったところの説明はしっかりしてくださいよというところですね、この辺はちょっともう少し、
01:02:39	しっかりしていただかないと、今の資料見てるだけでは何て言うのかな見通しとしてちょっと心もとない部分がちょっとあったというところなので、今後資料提出に向けて作り込みをしっかりしていただきたいと思います。
01:02:53	私からは以上です。
01:02:55	吸収能力が赤瀬でございますありがとうございます。今いただきましたところまさに今日ご指摘いただいてきましたところを踏まえてしっかり資料まとめてご提出させていただきます。
01:03:08	よろしくお願いいたします。
01:03:12	はい。では、こちらの会合ラップアップとして以上で終了して戸高資料は
01:03:21	仙台が今週中、今週中かまで一緒に頭ぐらいで限界も、そのあとで出してくると。
01:03:29	いうことでまた資料はですね、提示され次第、各々ヒアリング、同じ日になるかもしれないですし、またSDが違うんだったらもうあの会合も別なんで、別々にヒアリングするかもしれませんがちょっとそれが出てきたものを見て考えたいと思います。
01:03:43	ではよろしければ、以上で、
01:03:47	面談を終了しますお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。